

2022 年度 第 51 回繊維学会夏季セミナー
～持続可能な社会へ向けた次世代繊維技術の新たな可能性～

主 催：一般社団法人 繊維学会

開催期間：2022 年 8 月 30 日（火）～31 日（水）

開催方式：対面会場とオンラインのハイブリッド開催

対面会場：福井県協ビル（福井市大手 3 丁目 7 番 1 号） <https://www.senkyobldg.or.jp/>

オンライン：学会所有のシステムを使用予定（Zoom）

趣 旨：

本年度の夏季セミナーは北陸支部が担当します。「持続可能な社会へ向けた次世代繊維技術の新たな可能性」をメインテーマに据え、オンラインと現地での開催を融合したハイブリッド形式で開催いたします。活性度の高い繊維産地として全国的にも注目されている北陸地区で、繊維産業において解決すべき課題となっている持続可能な社会への対応に寄与すべく繊維技術の可能性について、深く議論できるセミナーを企画しました。

特別講演は、技術講演と文化講演の 2 件行います。技術講演では、持続する時代に向けて繊維業界が取り組むべき課題及び展望についてご講演いただきます。また、地域の特徴をテーマとした文化講演では、福井藩校の教師として明治期に活躍した米国人のウィリアム・E・グリフィスについて、その人となりや心境、人間関係についてお話しいただきます。

2 日間にわたる分科会セッションでは、北陸地区のアカデミアが中心となって重点的に取り組んでいる研究分野である①繊維・機能性材料、②ナノファイバー、③バイオ・生分解性材料、北陸産地の核となる産業分野である④染色・機能加工、⑤複合材料、さらに⑥北陸地区の特色ある取組、以上の合計 6 つの分科会セッションを企画し、それぞれのテーマに関する最新研究や事例紹介についてご講演をいただきます。

新型コロナウイルス感染状況が収束を迎えていない状況のため、恒例の懇親会や支部内の企業見学などの企画は残念ながら実現できませんでしたが、持続可能な社会へ向けた繊維産業・繊維技術の目指すべき方向性や可能性を知ることができ、みなさまと深い議論ができる、非常に中身の濃い 2 日間の夏季セミナーになっています。たくさんの方のみなさまのご参加を実行委員一同、心よりお待ち申し上げます。

参加登録費

	大学・官公庁	企業	学生
会員	25,000 円	35,000 円	8,000 円
一般（非会員）	28,000 円	38,000 円	10,000 円

実行委員会

実行委員長：田上 秀一(福井大)

実行副委員長：中根 幸治(福井大)、山田 英幸(セーレン(株))

実行委員：浅井 華子(福井大)、石井大輔（東京農大）、入江 聡(福井大)、岩下 美和(福井県工技セ)、植松 英之(福井大)、奥村 航(石川県工試)、川端 清二(福井県工技セ)、喜成 年泰(金沢大)、木水 貢(石川県工試)、齋藤 嘉孝(日華化学(株))、坂元 博昭(福井大)、佐々木 隆(福井大)、清水 靖博(サカイオーベックス(株))、杉原 伸治(福井大)、鈴木 悠(福井大)、高村 映一郎(福井大)、田中穰(福井大)、殿森 富美夫(ウラセ(株))、中橋 美幸(富山県産技研開発セ)、久田 研次(福井大)、平田 豊章(福井大)、廣垣 和正(福井大)、藤田 聡(福井大)、前田 寧(福井大)、村田 優治((株)マルサンアイ)、山下 義裕(福井大)、吉岡 隆一(松文産業(株))、若子 倫菜(金沢大)

顧問：堀 照夫(福井大学)、末 信一郎(福井大学)

学会事務局：野々村 弘人、山本 恵美、加藤 沙織

繊維学会第 51 回夏季セミナー プログラム

第 1 日目 8 月 30 日 (火)	12:30～13:30	受付開始 (12:30 から), サイトオープン (13:00 から)	
	13:30	開会あいさつ	
	13:35～14:35	特別講演 【技術講演】 「繊維業界におけるサステナビリティ ―課題と展望―」 日本化学繊維協会 専任副会長・理事長 富吉 賢一	
	14:35～14:45	休憩	
	14:45 講演開始	近未来の繊維・機能性材料へ向けて	複合材料
	14:45～15:30	A-1) 動的共有結合化学を基盤とする修復性および力学応答性高分子材料の設計 大塚 英幸(東工大)	B-1) 近未来のヒューマンインターフェースを実現する伸縮性印刷配線および電極の実装材料技術の進展 井上 雅博(群馬大)
	15:30～16:15	A-2) 精密重合を基盤とした機能性高分子材料群の開発と実用化に向けた取り組み 森 秀晴(山形大)	B-2) 炭素繊維と樹脂の界面強度に関する実験的・数値解析的評価 (仮題) 斉藤 博嗣(金沢工大)
	16:15～17:00	A-3) 生物に学び、生物を超える材料を作る: メタバイオ材料 藪 浩(東北大)	B-3) CFRP の界面に関するマルチスケール数値解析 小柳 潤(東理大)

第 2 日目 8 月 31 日 (水)	9:00～ 9:30	開場・サイトオープン	
	9:30 講演開始	持続可能な染色・加工に向けた技術の転換	環境と健康のためのナノファイバーテクノロジー
	9:30～10:15	A-4) 天然染料を用いた染色の取り組み 増田 貴史(北陸先端大)	B-4) ナノファイバーの医薬品への応用 田原 耕平(岐阜薬科大)
	10:15～11:00	A-5) エレクトロスプレーによる染色・導電糸加工: 浸漬法からスプレー法への転換 脇坂 昭弘(産総研)	B-5) ナノファイバーフィルターを用いた小杉マスクの取り組み (仮題) 小杉 秀則(小杉織物)
	11:00～11:45	A-6) 持続可能な社会へ向けた繊維機能加工薬剤 竹内 斉久(日華化学)	B-6) バイオマスナノファイバーへ機能と応用事例の紹介～ 近藤 兼司(スギノマシン)
	11:45～13:00	お昼休憩	
	13:00～14:00	特別講演 【文化講演】 「ウィリアム・グリフィスと幸福の足袋」 福井大学 特任教授 細谷 龍平	
	14:00～14:10	休憩	
	14:45 講演開始	循環型社会に貢献するバイオ・生分解性材料	北陸からはじまる産学官連携
	14:10～14:55	A-7) 光スイッチ型分解性バイオナイロンの設計 金子 達雄(北陸先端大)	B-7) 繊維技術ロードマップにおけるスマートテキスタイル～産総研北陸デジタルものづくりセンターにおける取り組み～ 牛島 洋史(産総研)
	14:55～15:40	A-8) 生分解性バイオポリマーの微生物生産 佐藤 俊輔(カネカ)	B-8) 産産学学連携研究拠点 バイオマスグリーンイノベーションセンターの設立について ～バイオマスからの新たな価値創造に向けて～ 高橋 郁夫(金沢大/ダイセル)
	15:40～16:25	A-9) <i>Ideonella sakaiensis</i> による PET 分解機構の解明とその応用 吉田 昭介(奈良先端大)	B-9) 北陸 3 県連携事業での CFRP 試作支援 木水 貢 ほか(石川県工試)
	16:25～16:30	閉会式	